

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



備蓄型・組立式・個室トイレ

# ほほ" 紙トイレ<sup>®</sup>



型番 : KS-117

 Smile Brothers  
Japan

F&P Group

\* 特許登録済

\* 意匠登録済

\* 商標登録済

\* NETIS登録済

\* 平成31(2019)年度 東京都トライアル発注認定制度認定商品

# 排泄は待ったなし！

災害発生後、  
上下水道や電気設備の機能停止で  
トイレが使えなくなることを想定していますか？

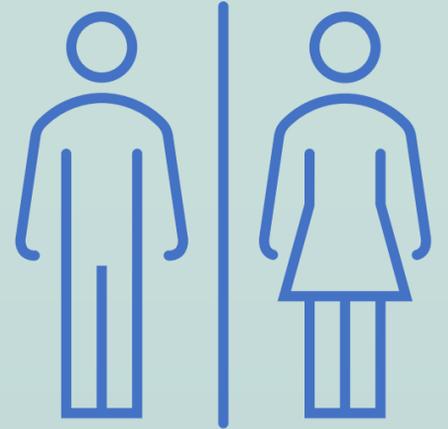
仮設トイレが被災地に届くまで  
1週間程度かかると言われています。

排泄は我慢することのできない生理現象です。  
健康被害、災害関連死にも繋がります。

災害時に1番困るのはトイレなのです。

## 備えは出来ていますか？

救援を待たずにすぐ使えるトイレ  
それが「ほぼ紙トイレ」です。



# 発災後すぐ困るのはトイレ

上下水道処理  
施設機能停止



下水道の復旧が最も困難で時間がかかります。  
インフラ復旧順 電気→水道→ガス→下水道

公共トイレ封鎖



避難所や公共トイレは発災時に封鎖する所がほとんどです。

支援物資の  
輸送困難



道路が遮断されると、仮設トイレは1週間程届かない想定が必要です。

排泄処理が  
出来ず二次感染

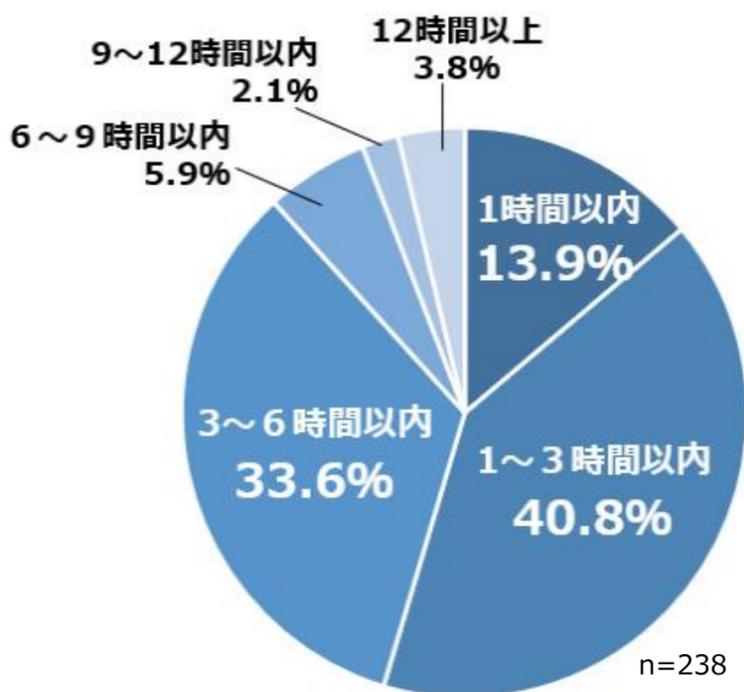


廃棄場所のない便袋や紙おむつが二次感染の発生源になっています。

## 外部支援はすぐに来ない

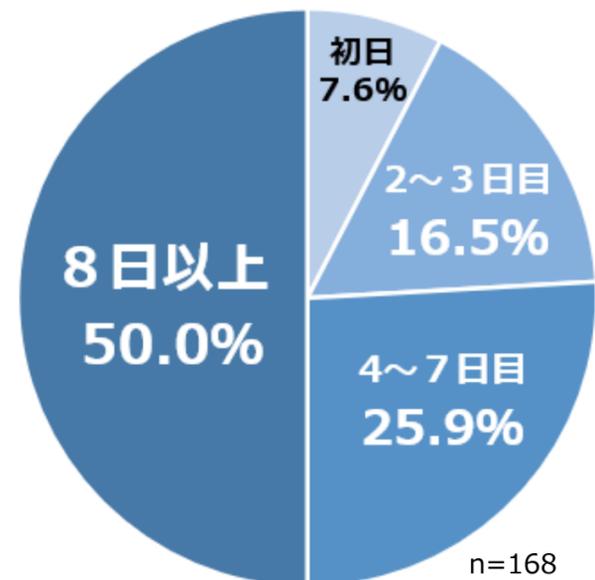
▶ 地震発生後6時間以内に  
トイレに行きたいと感じた人

88.3%



▶ 仮設トイレやトイレ車両が  
来るまでに要した日数

発災当日に来たのは  
わずか 7.6%



引用：能登半島地震（能登町）における 発災後のトイレ事情調査 2025年  
特定非営利活動法人日本トイレ研究所（災害用トイレ普及・推進チーム）

### ■調査概要

調査目的：被災者のトイレ事情を把握することで、災害時のトイレ環境の課題を明確にする  
調査対象：能登町内の全仮設住宅入居世帯（18団地571世帯（2024年12月時点））  
調査方法：仮設住宅にポスティングし、郵送およびFAXで回収  
調査期間：2025年9月24日（水）～10月10日（金）  
回答数：246サンプル  
実施主体：特定非営利活動法人日本トイレ研究所（災害用トイレ普及・推進チーム）  
協力：能登町



備蓄型・組立式・個室トイレ

# ほほ紙トイレ®

清潔

安心  
安全

簡単

女性に  
優しい

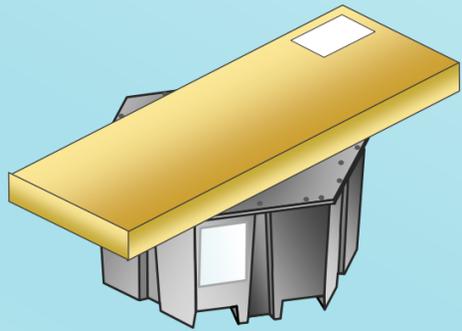
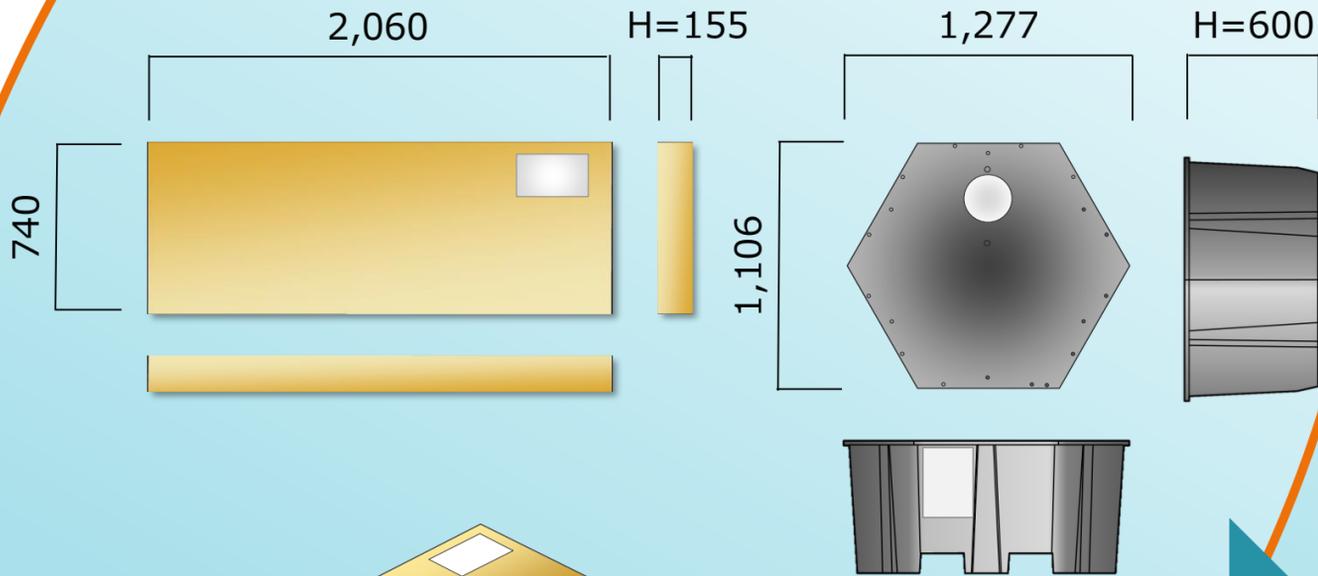
1. 上下水インフラ設備不要
2. 軽量、工具不要、約20分で組立可能
3. 約1,600回（成人約50人1週間）使用可能
4. バクテリア製剤投入で菌の繁殖と臭いを軽減
5. 全焼却処分可能で二次感染防止（LED照明・電池・フック除く）
6. 耐水・耐風加工で屋外設置可能
7. 床耐荷重200kgで介添者も共に入れる
8. 鍵付き内開きドア、LED照明で防犯対策
9. タンク底面に運搬機材（ハンドリフト等）用溝有り
10. 保管時はタンクとボックス別々に収納可能

# 重量・寸法

## 【保管時】

ボックス 約32kg  
(梱包材含)

タンク 約28kg

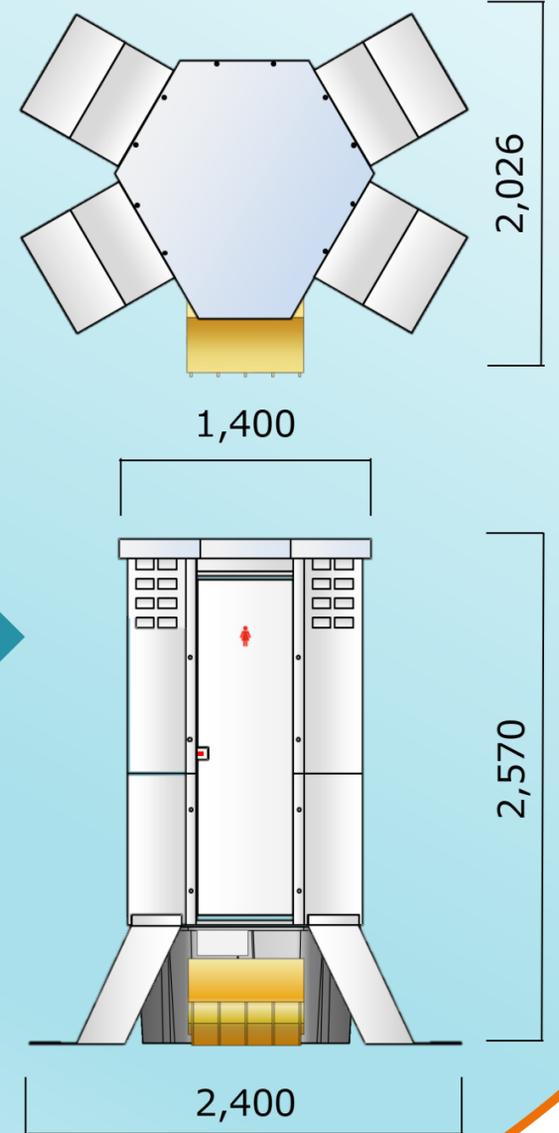


ボックスとタンクで  
1セット

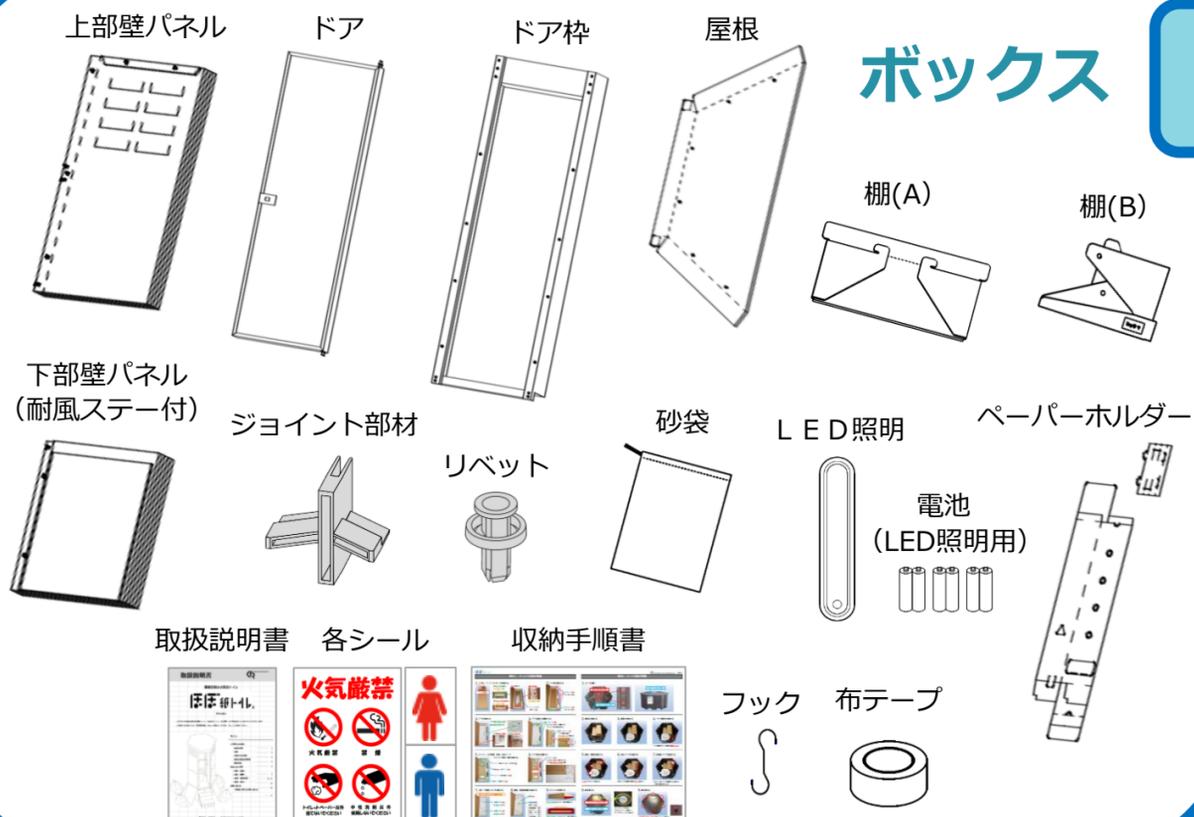
工具不要！  
簡単組立約20分！

## 【完成時】

約43.5kg

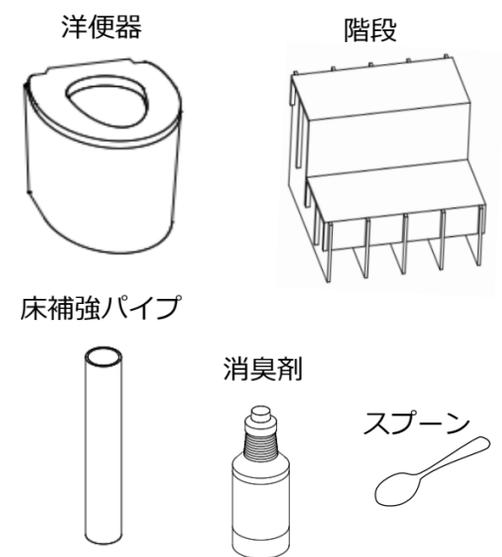


## ボックス



## 収容物

## タンク



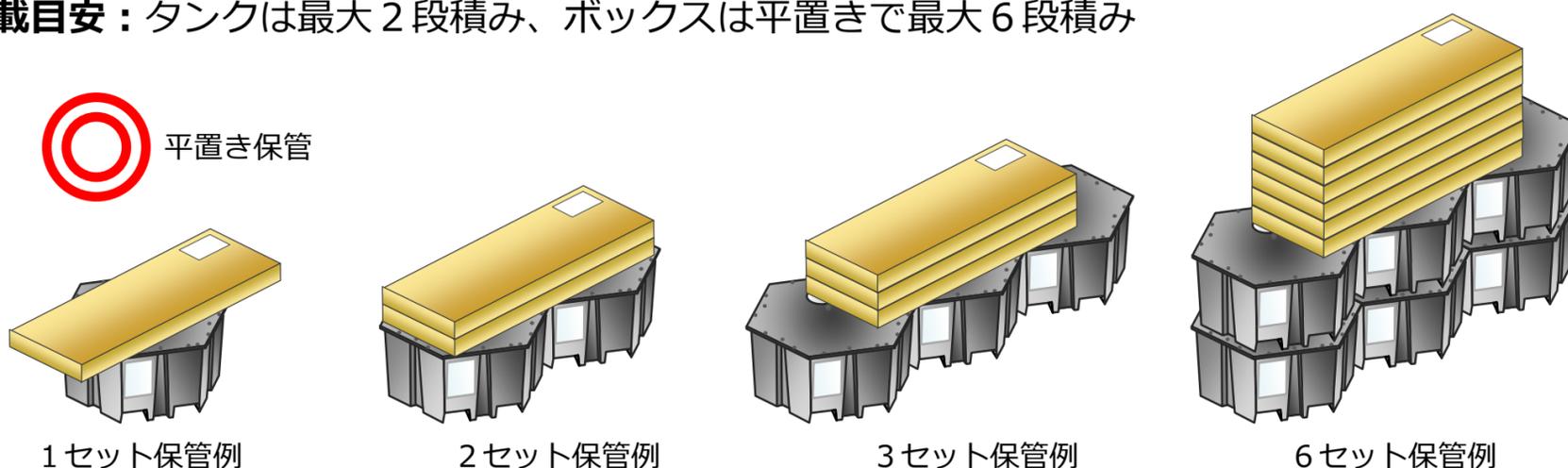
## ■ 保管環境

- ・ 屋内の冷暗所に保管してください。
- ・ 湿気や結露等が発生しやすい場所では床に直置きせずパレット等の上に保管してください。
- ・ ボックスは表示シール面を上にして水平に保管してください。
- ・ タンクは蓋面を上にして保管してください。

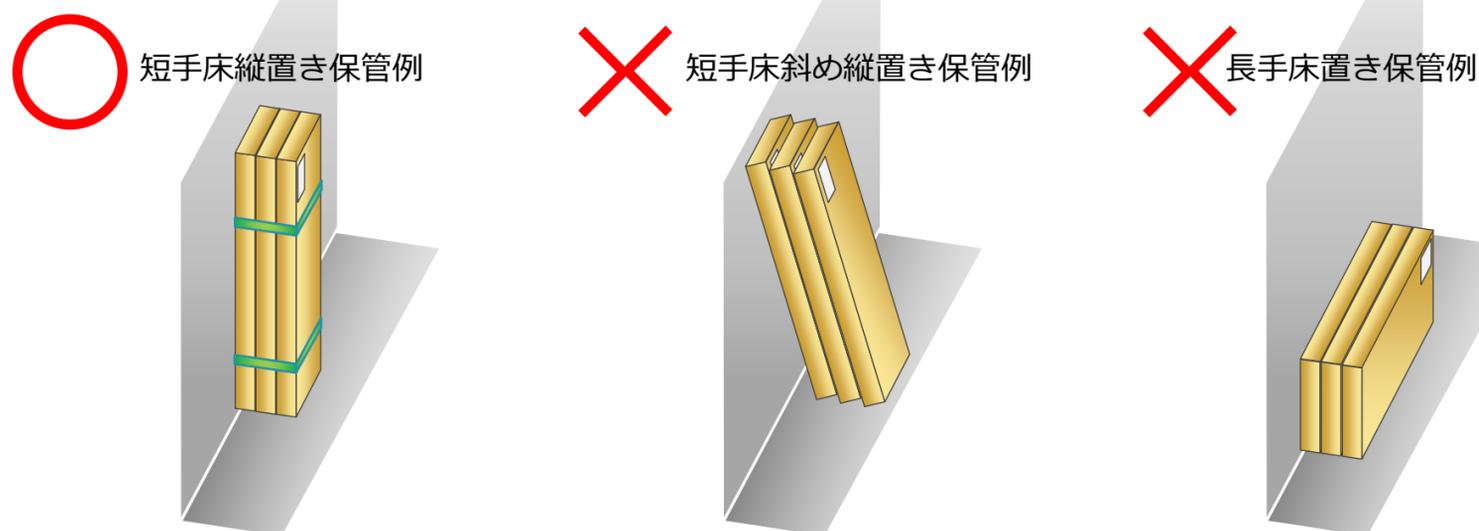
## ■ 積載

▶ 荷崩れやゆがみ防止のためボックスもタンクも「平置き」を推奨します。

積載目安：タンクは最大2段積み、ボックスは平置きで最大6段積み



**ボックスの縦置き**：荷崩れやゆがみ防止のため「平置き」を推奨しますが、どうしてもスペースが確保できない場合は短手を下にして縦置きに保管します。その際、必ず転倒防止対策をしてください。



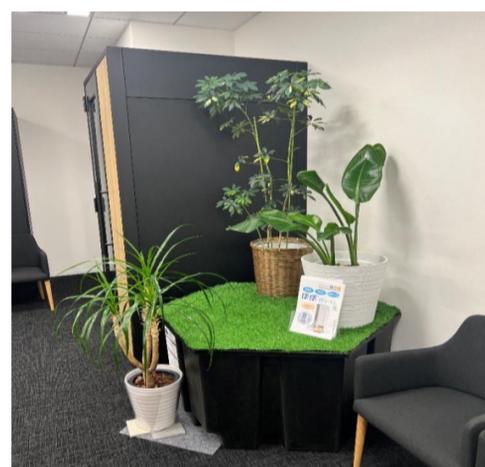
### ▶ 「ほぼ紙トイレ」専用のカゴ台車

- ・ 1セット用、3セット用を販売しております。



### ▶ 見せる保管

- ・ プランター等の置場として活用できます。



# 運 搬

## ■ 納品時

- ・原則車上渡しです。荷下ろし及び保管場所までの運搬をご希望の場合は販売店にご相談ください。

## ■ 回収・処分時

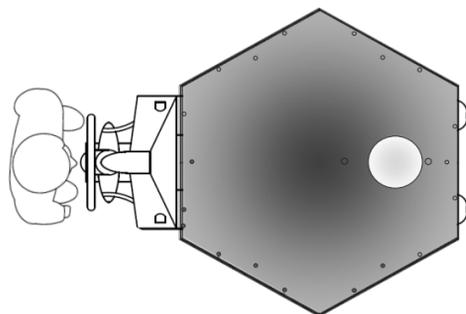
- ・ほぼ紙トイレ設置場所から回収車両（ユニック車、バキュームカー）が進入可能な場所までのタンクの運搬はご利用者様の作業となります。
- ・タンクを満タンまで使用すると重量は約400kgとなりますので運搬する際は機材が必要です。タンクの底には運搬機材フォーク用の溝がついているので、ハンドリフト等で運搬可能です。

## ■ エレベーター使用

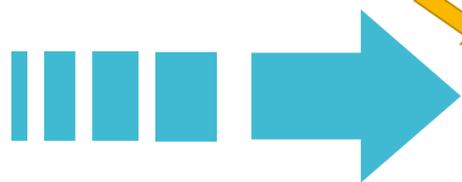
- ・エレベーターのサイズ・重量をご確認ください。

タンク+機材

- ・ W 1,277×D 1,530mm
- ・ 500~600kg

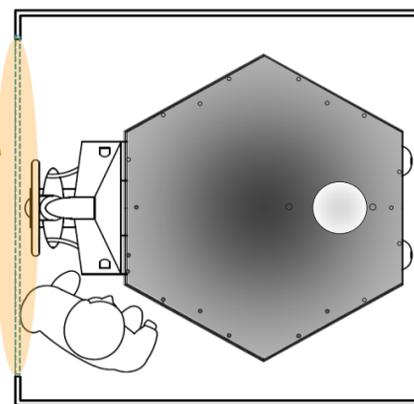


間口 1,400以上



エレベーター

- ・ 間口 1,400mm以上
- ・ W 1,400×D 1,600mm以上
- ・ 積載600kg以上



1,400以上

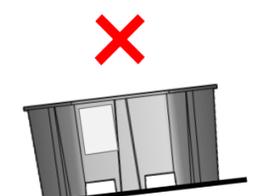
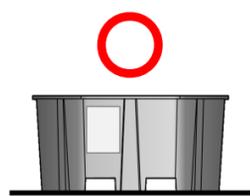
1,600以上

# 組立・設置

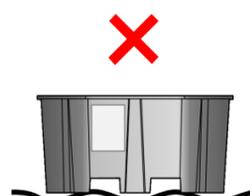
## ■ 設置場所

\* 設置場所が 使用済み「ほぼ紙トイレ」の回収場所になります。

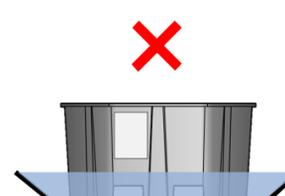
(タンクが満タンになると400kg以上となるので運搬機材無しでは移動できません。)



傾斜している場所



安定しない場所



水が溜まりやすい場所

- ・ 回収車両が進入可能な場所
- ・ 水浸しは避けて水はけの良い平らで換気の良い場所
- ・ なるべく風雨の影響が少ない場所
- ・ 人目に付きやすく明るい場所（防犯対策になります。）
- ・ 天高2,600mm以上の場所（組立完成したほぼ紙トイレの高さは約2,570mmになります。）

## ■ 組立時間・手順

- ・ 約20分（2名）工具は不要



## ■ 使用期間

- ・成人50人で約1週間使用が目安（タンク容量400リットル）

## ■ 衛生維持

- ・担当者、当番制等による定期的な清掃、消毒・殺菌
- ・トイレットペーパーなど消耗品の補充
- ・タンク内、し尿量の確認（便器の穴から目視）
- ・使用後の手洗い

## ■ 禁止事項

- ・室内及び本製品周辺での火気使用
- ・床の耐荷重200kgを超える使用
- ・トイレットペーパー以外の便槽内投入
- ・中性洗剤以外の使用



## ■ 消費期限 ～消費期限のある備品～

**電池** : 記載された「使用推奨期限」を確認して入替

**消臭剤** : タンク貼付の表示シール記載製造年月日から5年ごとに補充

※未開封の場合

製剤の効果が徐々に薄れていくだけでするので廃棄せずに補充品と共にご使用ください。



消臭剤

ほぼ紙トイレでは浄化槽用バクテリア製剤『ロービックK-57JD』を採用しています。



## よくある質問

### 『紙製』でも丈夫なの？

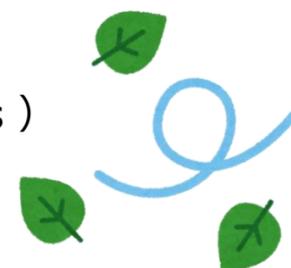


**耐水性** 壁パネル：優れた耐水性と強度の『超耐水性』板紙※を使用。  
階段：『強化耐水性』段ボールを使用

**耐風性** 耐風性試験結果※  
風速25m/s（春一番の認定基準は8m/s）  
※性能を保証するものではありません。



※選挙用ボードに貼られている板紙と同じものを使用しています。



## ■ 使用後の処分方法

- ・可燃物として全て焼却処分可能です。（LED照明、電池、フックは不燃。再利用できますのでご使用ください。）
- ・災害時に限り「ほぼ紙トイレ」は一般廃棄物として管轄自治体により回収・処分されます。

### ▶ し尿入りタンクについて

- ・廃棄方法 ①自治体により し尿貯留状態でタンクごと回収し処分  
②自治体により し尿をバキューム後に空タンクを回収し処分

\* 環境省の手引き※によると

『災害時に発生する生活ごみやし尿、災害廃棄物はすべて市町村が処理責任を有する一般廃棄物』とされています。

※引用：「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き」（R3.3月改定）

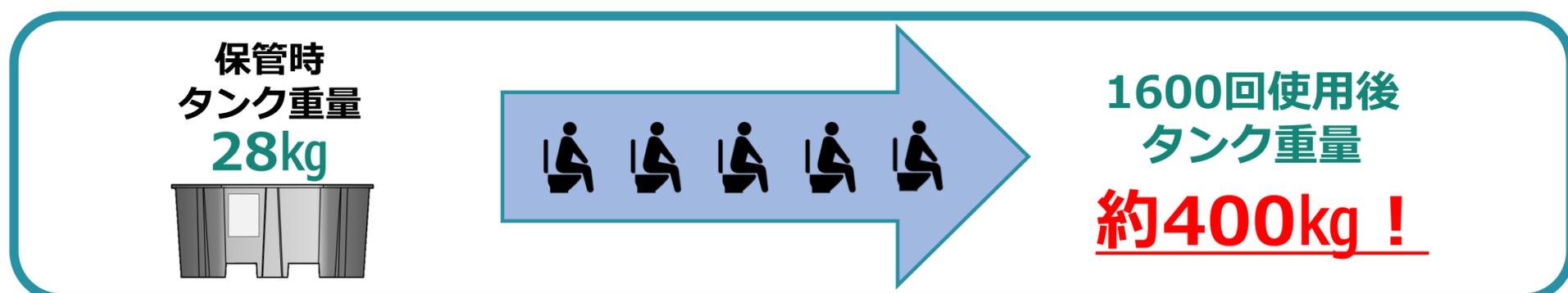
環境省環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室

\* 所轄自治体により処分方法が異なりますので、災害時は担当部署（危機管理、防災等）の指示に従ってください。

\* 災害時は自治体も混乱しているため、し尿の回収には時間がかかることが想定されます。

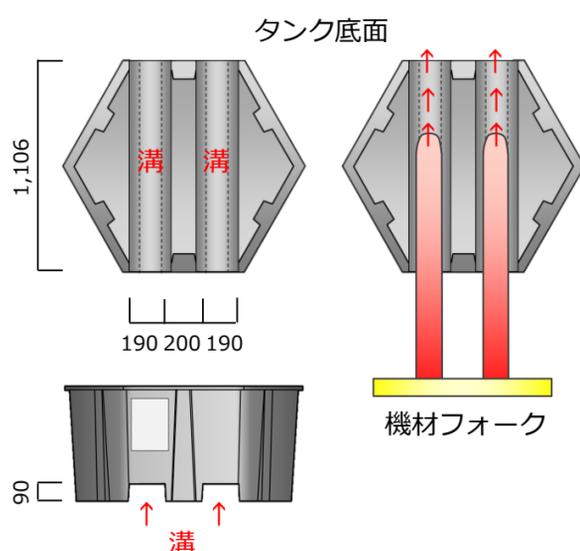
\* 回収までの間バクテリア製剤によりタンク内のし尿の菌の繁殖や臭気を軽減し衛生を保ちます。

## ■ 使用済みタンクの移動方法

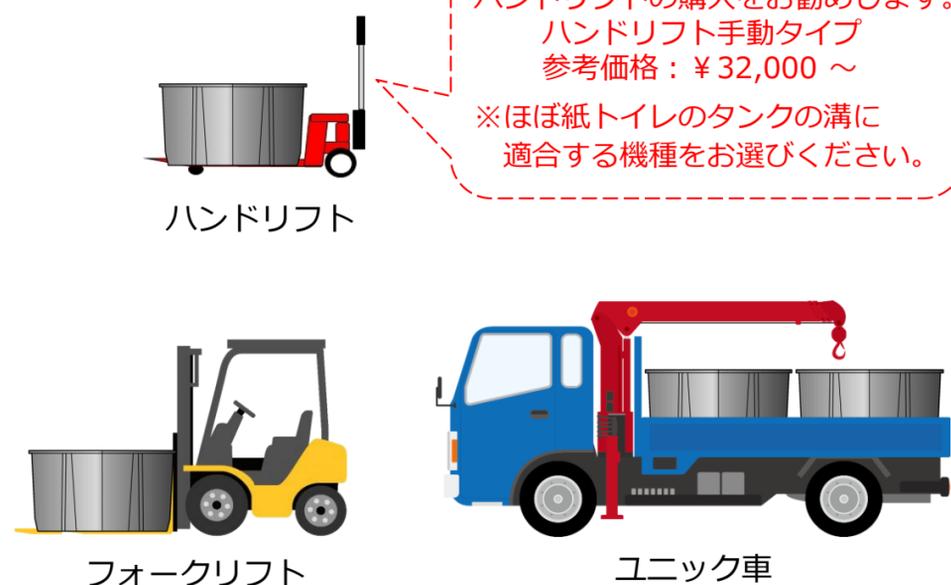


- ・便器を取り外し、穴を付属のキャップで塞ぎ、蓋の周りを付属の白テープで固定します。
- ・タンクの底には運搬機材のフォーク用の「溝」がありますので、ハンドリフト等で移動できます。

### [タンク溝]



### [運搬機材]



# 災害用トイレの選択

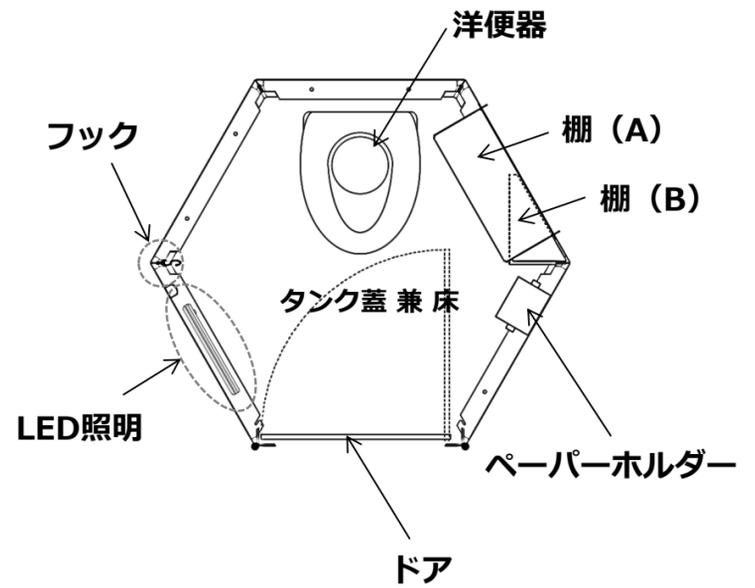
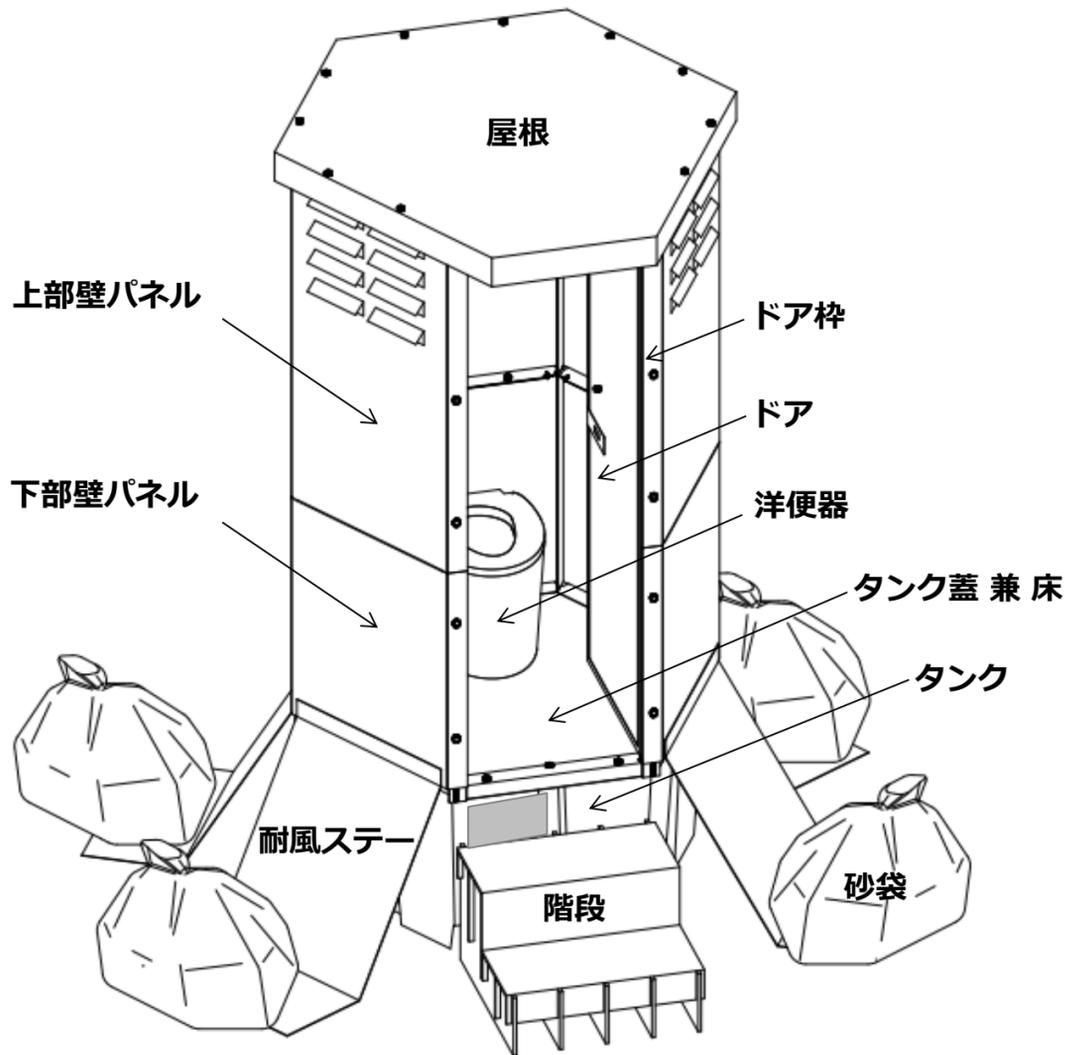
～災害時に途切れることのないトイレ環境を～

災害の規模によりライフラインが復旧するまでに要する期間は異なりますが、  
この間、何らかの方法で「トイレ」を確保しなければなりません。

様々な災害用トイレの特性を理解した上でトイレを選択し復旧までの期間を凌ぎましょう。

		日数	発災当日	～3日後	～8日後	留意点
ライフライン状況	水道 断水		→ 復旧目安			
	下水道 下水管断裂		→ 復旧目安			
	電気 停電		→ 復旧目安			
	道路 断絶		→ 復旧目安			
災害用トイレ	<b>ほぼ紙トイレ</b> *今までにない災害用トイレ*		○	○	○	・保管スペース ・段差がある
	<b>携帯トイレ</b> ・洋式便器等に設置し使用する便袋		○	○	○	・既存の洋式トイレが破損すると使えない ・使用済便袋の保管場所 ・便袋の破損による二次感染
	<b>簡易トイレ</b> ・便器代用品と便袋がセットのトイレ		○	○	○	・個室が使えない場合「囲い」が必要 ・使用済便袋の保管場所 ・便袋の破損による二次感染
	<b>仮設トイレ（組立式）</b> ・トイレ室と便器がセットのトイレ		△	○	○	・組立に時間を要する ・段差がある
	<b>仮設トイレ（完成型）</b> ・トイレ室と便器がセットのトイレ		×	×	×	・被災地への道路状況、交通事情によって運搬できない
	<b>マンホールトイレ</b> ・マンホールを利用するトイレ		×	×	×	・下水処理施設、下水道設備が必要 ・管理者の使用可否の確認必要 ・使用後の清掃・メンテナンス費用が膨大
支援	<b>国：PUSH型支援</b> ※ ※国が被災都道府県要請を待たず必要と見込まれる物資を調達し被災地に緊急輸送すること		×	×	△	・発災直後には届かない ・支援物資と被災地で必要としているものが一致しない
	<b>自治体：災害応援協定</b>		×	×	△	・発災直後には届かない ・「可能な限りの支援」が前提のため必要物資かつ必要量の確保は不確定

# 各部の名称



	耐荷重
棚 (A)	3kgまで
棚 (B)	1 kgまで
フック	3kgまで

# 仕 様

本 体	材 質 ・ 仕 様
屋根	ポリプロピレン (厚 : 4mm)
上部壁パネル	超耐水性板紙 (厚 : 1.6mm)
下部壁パネル (耐風ステー付)	超耐水性板紙 (厚 : 1.6mm)
ドア (鍵付)	発泡スチロール + PPシート (厚 : 16mm)
ドア枠	ミルクカートンアングル (厚 : 4mm)
タンク・蓋兼床 (キャップ付)	PDCPD樹脂 / キャップ=塩ビ
洋便器 (便座+便器) 防臭弁付	発泡スチロール + 塩ビシート
階段	強化耐水ダンボール
組立備品	材 質 ・ 仕 様
床補強パイプ	塩ビ
リベット	PBT+POM樹脂
ジョイント部材	ABS樹脂
付属備品	材 質 ・ 仕 様
ペーパーホルダー	コートボール紙
照明	乾電池式LEDセンサーライト
電池 (LED照明用)	アルカリ単三電池
棚 (A) (B)	超耐水性板紙 (厚 : 1.6mm)
フック	鉄 (クロームメッキ)
消臭剤	バクテリア製剤
砂袋	ポリエチレン
布テープ	白色布
スプーン	ステンレススチール



# ご購入前のチェックシート

「ほぼ紙トイレ」を正しく使用して頂くための大切なポイントをまとめております。  
ご購入前に本シートの内容を必ずご確認ください。

## 納品

- 原則車上渡し（荷下ろし及び保管場所までの運搬をご希望の場合は販売店にご相談を。）

## 保管場所・保管方法

- 保管場所は屋内です。（屋外保管はシートで覆う場合でもお控えください。）
- 湿気や結露等が発生しやすい場所では床に直置きせずパレット等の上に保管します。
- ボックスは表示シール面を上にして水平にして保管します。
- タンクは蓋面を上にして保管します。
- 消臭剤（バクテリア製剤）はタンク貼付表示シールに記載の製造年月日から5年ごとに補充します。
- 電池は記載された「使用推奨期限」を確認して入れ替えます。

## 設置場所

- 天高2,600mm以上の場所。（組立完成したほぼ紙トイレの高さは約2,570mmです。）
- 水浸しは避けて水はけの良い平らで換気のいい場所。
- \*回収車両が進入可能な場所。（タンクが満タンになると重量約400kgとなり運搬機材無しでは動かせません。）

## 搬出・処分

- 災害時に限り「ほぼ紙トイレ」は一般廃棄物として管轄自治体により回収・処分されます。  
（し尿の処分方法：①し尿貯留状態のままタンク回収 ②し尿バキューム後に空のタンク回収）
- \*ほぼ紙トイレの設置場所から回収車両（ユニック車、バキュームカー）が進入可能な場所まで運搬が必要となる場合、ほぼ紙トイレの運搬はご利用者様の作業となりますので、ハンドリフト等の運搬機材が必要です。
- タンクの運搬にエレベーター使用される場合は、サイズ・積載重量の事前確認が必要です。

【6頁■エレベーター使用 参照】

**必要台数** ※最小必要数男女別で2セットを推奨いたします。



日	人数				
	100人	200人	300人	400人	500人
3日間	2※	2	3	4	5
7日間	2	4	6	8	10
14日間	4	8	12	16	20
21日間	6	12	18	24	30

「ほぼ紙トイレ」  
紹介動画



「主な納入実績」



製造・販売元 株式会社スマイル・ブラザーズ・ジャパン

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 ペンてるビル8階

TEL : 03-6887-7511

FAX : 03-5623-9550

E-MAIL : info-hobokami@fandp.co.jp

URL : https://www.fandp.co.jp/hobokamitoire

※記載の仕様は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

販売代理店